

令和3年

季刊

夏季号

亞東



令和3年度総会開催(令和3年5月24日:ルポール麹町)



一般社団法人日本台湾親善協会

Japan-Taiwan Friendship Association

一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名称 一般社団法人日本台湾親善協会

(英文名) Japan-Taiwan Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七-四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条と

する日本と台湾との相互理解と交流を促進して

日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年、東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一月六日、「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため二〇一八年九月に名称を「日本台湾親善協会」に変更しました。会員一同、会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」令和三年 夏季号・目次

一般社団法人日本台湾親善協会・概要・変遷	二頁
目次・協会役員名簿	三頁
令和三年度第七二回通常総会終了の報告	四頁
決算報告書	七頁
令和三年度事業計画書	十一頁
収支予算書	十二頁
会員の皆様へ	
日本台湾親善協会会長 衛藤征士郎	十三頁
理事就任にあたって 岩本由起子	十四頁
加藤 光淑	十五頁
トピックス	一六頁
暑中見舞い広告	

令和3年5月24日 現在

役員名簿

名誉会長	玉澤徳一郎								
会長	衛藤征士郎								
副会長	山本順三	張 建国	張 碧華						
	並木正芳	張岩田	建国善信						
専務理事	赤松 則宏								
業務執行理事	藤山 雅康	笹岡 恭亮							
	榎本 有里								
理事	21名								
	衛藤征士郎	張 谷	建国彦	張 山	碧華康	山本山	順三茂	並木正	衛藤征
	赤松則宏	崎森	秀彦郎	藤山城	雅康英	益山本	有里貴	伊野雅	藤征士
	笹岡恭亮	明石	康郎散	岩城田	光善信	榎本多		金子万	家彰
	富田家彰							加藤万	由起子
	岩本由起子							加藤光	
監事	2名	李 八	ハ口ル	下		鈴木 慶一			
事務局		崎谷 秀彦	李 孔	晔					

一般社団法人 日本台湾親善協会

令和三年度 第七二回通常総会修了の報告

一般社団法人 日本台湾親善協会 事務局

拝啓 青葉若葉の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、去る五月二四日に開催しました当協会の第七二回通常総会は各位のご協力を得まして、下記の通り全議案を滞りなく承認可決致しました。

就きましては、今後とも、会員一同並びに関係各位の協力のもとに、総会決議に基づき、各種の事業活動を一段と活発に進めてまいる所存でございます。

何卒、尚一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

先ずは、総会終了のご報告方々ご挨拶申し上げます。

敬具

記

(出席者)

一六〇名(委任状を含む) 定款第一五条第一項の規定により適法である旨を事務局より報告。

衛藤征士郎氏が議長に選出され総会議事に入った。

議事録署名人選出の件について議長が計り、張建国、森康郎氏両名が選出されました。

(決議事項)

第一号議案 令和二年度事業報告承認の件

第二号議案 令和二年度収支決算報告承認の件

以上の各議案について監査報告がなされ、それぞれ報告書の通り承認可決されました。

第三号議案 理事補充選任の件

加藤光淑、岩本由起子氏二名が選出されました、経過報告がなされ、承認可決されました。

その他 事項報告

「令和三年度事業計画」並びに

「令和三年度予算」

につきましては、

新法人法により理

事会承認事項とな

り四月二三日第一

回理事会において

承認されましたこ

と報告しました。



令和二年度 事業報告書

〔令和二年四月一日から令和三年三月三十一日まで〕

会員の皆様におかれまして、日頃日本台湾の友好親善発展のため当協会の事業活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

二〇二〇年我が国のみならず全世界が新型コロナウイルス感染症の感染拡大翻弄される一年となりました。新型コロナウイルス感染症により、多大な影響を受けていらっしゃる方々に心よりお見舞い申し上げます。

当協会が本年度の事業計画に基づいて実施した各種事業活動について、その主な事項をご報告申し上げます。

一、組織の強化及び会員の増強

新法人への移行九年目を迎え、会員の増強並びに協会組織力の強化に努めた。

二、会員の移動状況

新加入会員四名

三月三十一日現在会員総数三二六名

(個人、法人、賛助(理事、他)会員を含む)

三、令和二年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為に恒例の事業(親善交流・文化活動、講演会、社会見学、日台親善の旅等)が一切出来ませんでした。

四、会報「亜東」の発行

季刊「亜東」として年四回(春、夏、秋、新春の発行で各回一、〇〇〇部、但し新春号二〇〇部増刷)会員他、関係各位に配布。

五、会議の開催

令和二年 九月一八日(金) 定例理事会

砂防会館会議室

” 一二月 九日(水) 定例理事会

明治記念館

六、会の緒活動・事業報告

令和二年

五月二〇日

台湾政府から謝大使より医療用マスク一万枚寄贈されました

ました

五月二八日

衛藤会長から社会福祉法人『全国社会福祉協議会』に医療用マスク一万枚を寄附しました

六月二二日

当協会岩城理事のご尊母葬儀に弔意を表す

八月四日

台北駐日経済文化代表処にて元台湾總統李登輝氏の弔

問記帳

衛藤会長、副会長、理事多数出席弔意を表す

九月一九日

(二財)台湾協会交礼台湾の会に並木副会長出席祝意
を表す

一〇月四日

東京華僑総会主催双十節慶祝大会に祝意を表す



決 算 報 告 書

令和 2 年度

(第 7 2 期)

令和 2 年 4 月 1 日
令和 3 年 3 月 3 1 日

1. 正味財産増減計算書
2. 貸借対照表
3. 財産目録書
4. 財務諸表 注記事項
5. 会計業務監査報告書
6. 収支予算書

東京都千代田区平河町 2 丁目 7 番 4 号
砂防会館 別館 2 階
一般社団法人 日本台湾親善協会

正味財産増減計算書
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

法人名：一般社団法人 日本台湾親善協会
事業名：事業全体

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	6,429,120	8,198,660	△1,769,540
個人会員受取会費	2,230,000	2,100,000	130,000
法人会員受取会費	4,199,120	4,070,000	129,120
交流活動協力金		2,028,660	△2,028,660
事業収益	1,290,000	3,025,000	△1,735,000
行事関係会費	450,000	2,115,000	△1,665,000
広告掲載	840,000	910,000	△70,000
雑収益	9	10	△1
受取利息	9	10	△1
經常費用計	7,719,129	11,223,670	△3,504,541
事業費用	1,172,662	5,320,910	△4,148,248
行事費	446,156	2,327,553	△1,881,397
季刊亜東印刷費	726,506	863,791	△137,285
交流活動費		2,129,566	△2,129,566
管理費	5,480,227	5,655,771	△175,544
給料手当	2,570,690	2,496,570	74,120
会議費	124,785	66,033	58,752
旅費交通費	264,000	270,340	△6,340
通信費	136,402	183,161	△46,759
事務消耗品費	216,370	293,675	△77,305
支払手数料	49,133	36,805	12,328
貸借外費	1,884,330	1,922,276	△37,946
渉外費	148,617	299,231	△150,614
租税公課	85,900	87,680	△1,780
經常費用計	6,652,889	10,976,681	△4,323,792
当期經常増減額	1,066,240	246,989	819,251
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用計			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,066,240	246,989	819,251
一般正味財産期首残高	1,946,406	1,699,417	246,989
一般正味財産期末残高	3,012,646	1,946,406	1,066,240
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,012,646	1,946,406	1,066,240

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

法人名：一般社団法人 日本台湾親善協会
事業名：事業全体

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	2,612,608	1,547,698	1,064,910
現 金	212,139	195,180	16,959
普 通 預 金	678,292	712,858	△34,566
郵 便 貯 金	1,722,177	639,660	1,082,517
流 動 資 産 合 計	2,612,608	1,547,698	1,064,910
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
電 話 加 入 権	108,858	108,858	
敷 金	300,000	300,000	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	408,858	408,858	0
固 定 資 産 合 計	408,858	408,858	0
資 産 合 計	3,021,466	1,956,556	1,064,910
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
預 り 金	8,820	10,150	△1,330
流 動 負 債 合 計	8,820	10,150	△1,330
負 債 合 計	8,820	10,150	△1,330
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	3,012,646	1,946,406	1,066,240
正 味 財 産 合 計	3,012,646	1,946,406	1,066,240
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	3,021,466	1,956,556	1,064,910



会計監査報告書

一般社団法人 日本台湾親善協会

各 会 員 殿

令和3年4月23日

一般社団法人 日本台湾親善協会

監 事 鈴木慶 
監 事 李ハコル 

私たちは、令和2年4月1日から令和3年3月31日迄の会計年度における
会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監 査 意 見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為又は法令もしくは寄付行為に違反する重大な事実はないと認める。

令和3年度事業計画書

(案)

[令和3年4月1日～令和4年3月31日]

会議の開催

令和3年	4月	定例理事会
	5月	通常総会
	9月	定例理事会
	12月	定例理事会
4年	1月	定例理事会
	3月	定例理事会

事業

当法人は、民主主義と自由を信条とする台湾との政治、経済文化に関する調査 研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版、及び会員相互の親睦を図ることを目的として、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 我が国と台湾との文化、芸術の相互の紹介
- (2) 我が国と台湾との経済協力の推進に必要な情報の 収集及び幹旋
- (3) 我が国に在住する台湾民の交流事業
- (4) 台湾からの在日留学生に対する交流事業
- (5) 季刊「亜東」として年4回（春、夏、秋、新春）発行、会員外、関係各位に配布（観光協会、中華学校、等）
- (6) 継続事業の推進、本件事業についてホームページ広報誌を活用し事業活動の広報に努め巾広く参加を呼びかける。
- (7) 後援、協賛事業の推進
友好団体との事業（講演会、研修会など）の後援、協賛を今後とも積極的に推進して行く。

前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業を実施する。

収 支 予 算 書 (案)

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日 (決算) まで

法人名：一般社団法人 日本台湾親善協会

事業名：事業全体

科 目	予 算 額	前年度決算額	増	減	備 考
I 事業活動収支の部					
事業活動収入					
会費収入	8,600,000	6,429,120		2,170,880	
個人会員会費収入	2,300,000	2,230,000		70,000	
法人会員会費収入	4,300,000	4,199,120		100,880	
交流活動協力金収入	2,000,000			2,000,000	
事業収入	2,900,000	1,290,000		1,610,000	
行事関係会費収入	2,000,000	450,000		1,550,000	
広告掲載収入	900,000	840,000		60,000	
雑収入	5	9		△4	
受取利息収入	5	9		△4	
事業活動収入計	11,500,005	7,719,129		3,780,876	
事業活動支出					
事業費支出	3,200,000	1,172,662		2,027,338	
行事費支出	450,000	446,156		3,844	
季刊巫東印刷費支出	750,000	726,506		23,494	
交流活動費支出	2,000,000			2,000,000	
管理費支出	5,538,000	5,480,227		57,773	
給料手当支出	2,650,000	2,570,690		79,310	
会議費支出	125,000	124,785		215	
旅費交通費支出	270,000	264,000		6,000	
通信費支出	140,000	136,402		3,598	
事務消耗品費支出	180,000	216,370		△36,370	
支払手数料支出	48,000	49,133		△1,133	
賃借料支出	1,900,000	1,884,330		15,670	
渉外費支出	150,000	148,617		1,383	
租税公課支出	75,000	85,900		△10,900	
事業活動支出計	8,738,000	6,652,889		2,085,111	
事業活動収支差額	2,762,005	1,066,240		1,695,765	
II 投資活動収支の部					
投資活動収支差額	0	0		0	
III 財務活動収支の部					
財務活動収支差額	0	0		0	
IV 予備費支出					
当期収支差額	2,762,005	1,066,240		1,695,765	
前期繰越収支差額	3,012,646	1,946,406		1,066,240	
次期繰越収支差額	5,774,651	3,012,646		2,762,005	

会員の皆様へ



一般社団法人

日本台湾親善協会 会長

衆議院議員 衛 藤 征士郎

巨星墜つ、許水徳先生のご逝去に、本協会を代表して心から哀悼の意、痛惜の意を申し上げます。

許水徳先生は、日本台湾の「架け橋」として輝かしい業績と功績を残されました。台北駐日経済文化代表処代表、台湾亜東関係協会会長、台湾内政部長、考試院院長、台北市長、高雄市長、並びに「日本国旭日大綬章」叙勲の榮譽に浴されました。ここに改めて許水徳先生の偉大な人生に対して、最高の敬意を表します。

世界各国が新型コロナウイルス感染症で大混乱の最中、台湾は既に平穩を維持し、世界中から賞賛されています。一方、我が国は変異ウィルスの発症等、第三波が懸念され、この非常事態を克服して、国民の生命とくらしを守らなければなりません。

扨て、四月十七日の未明、日米首脳会談がワシントンで開催されました。日米同盟の強化、特に日米同盟のグランドデザイン（全体像）と日米同盟のロードマップ（道筋・道程）が明示

され、日米同盟の指針が確立されたことは特筆すべきであります。又、菅・バイデン両首脳は日米共同文書に「台湾の平和と安全」「台湾の安定」にコミットすることを声明しました。日米首脳会談の共同文書に台湾問題が書き込まれたのは、実に五十二年ぶりであり、高く評価致します。

私達は、今度の日米首脳会談を、日本台湾の親善交流推進の新しい出発点、キックオフと位置づけ、一層の努力を積み上げて参りたいと思います。

コロナ禍の中で、日本台湾親善協会の年間諸行事の開催には、大変なご苦労があると存じますが、役員一同は皆様と緊密に連帯して、精一杯取り組んで参りますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

結びに、会員皆様のご健勝と益々のご活躍を、ご祈念申し上げます。



「理事就任にあたって」



岩本 由起子

この度、一般社団法人台湾日本親善協会におきまして、新理事に就任いたしました岩本由起子と申します。

二〇一一年の春から二〇一八年秋まで、台湾北部の港町淡水に本校がある淡江大学事務與戰略研究所博士班にて、台湾と日本の安全保障について研究し博士号を取得後帰国いたしました。ご縁賜り、先輩理事の富田家彰氏よりご推薦いただき、当法人の理事としてお役に立てることは大変光栄に存じます。微力ではありますが、誠心誠意努めてまいりたいと思っております。

これまで日台間を往来しながら、産学官連携事業、日台戦略対話及び文化交流などのお手伝いをさせていただきました。しかし残念なことに、二〇二〇年よりCOVID-19の感染拡大が始まり、オンラインでの交流のみとなりました。お互いを知るために最も有効な手段は、直接会って触れ合うことと実感いたしましたしております。台湾と日本との友好関係を促進するためにも、少しでも早いCOVID-19の撲滅と交流回復を願いたいと思っております。



拝啓

加藤 光 淑

この度、日本台湾親善協会、理事にご推薦をいただき就任させていただく事になりました加藤光淑です。

私にとりましては、身に余る重責でございますが、理事として、精一杯の努力をしてみたい所存です。

台湾とは、ビジネス並びに友人関係を持たせていただき、約三〇年来の友好関係を築き上げてまいりました。

ビジネス面では、台湾にて、光ディスクDVD生産ラインの立ち上げに協力をさせていただき、関係各所の方々と友好関係を続けております。

また、台湾には、数多くの友人もでき、民間交流のイベント、文化交流等、毎年、日本と台湾でお手伝いさせていただいております。

現在はコロナ過で計画しておりましたイベント等が実施できなくなつた状況下で残念ですが、また、台湾の方々との協力関係を結びご一緒できることを心待ちにしております。

微力ではございますが、日本と台湾の友好関係に力を尽くして参りたいと思っております。

トピックス

☆蔡英文総統、熱海土石流災害に支援表明

熱海市伊豆山地区で七月三日、大規模な土石流による被害が出たことを受け、蔡英文総統は同日夜、ツイッターに、「死亡された方々、安否が不明となっている方々に対して心からお見舞いを申し上げ、日本が必要とする援助を何時でも提供できるように私たちは用意しています」と日本語で表明されました。

同時に台湾外交部も日本政府に、お見舞いメッセージを發出し、「必要な援助をできる準備を整えている」と支援を惜しまない台湾の姿勢を伝えました。



十年前の『東日本大震災』に対する二五〇億円もの義援金や被災地に赴いての人的支援などは、日本人の記憶に深く刻まれており、新型コロナウイルス感染拡大初期のマスクや医療品の援助も記憶に新しいところですが、今回の支援表明も日本と台湾の友情をますます育んで行くものと確信しています。

☆日本の「防衛白書」に台湾情勢を初明記

政府は七月十三日の閣議で二〇二二年版「防衛白書」を了承、台湾情勢について、台湾への軍事的支援を鮮明にする米國と台湾統合を『核心的利益』と位置付ける中国の対立が「一層顕在化する可能性がある」と危機感を示し「台湾をめぐる情勢の安定は、我が國の安全保障にとつてはもとより、国際社会の安定にとつても重要」と初めて明記しました。

岸防衛相はまた、習中国共産党総書記が党創建一〇〇年記念式典で台湾統一実現への決意を述べたのを受け「当事者間の直接の対話により平和的に解決することを期待する」と日本の一貫とした立場を示し、緊張感を持って注視すると述べました。

☆コロナ感染者、警戒レベル引上げ後最少に

五月中旬以降、輸入症例から拡大した台湾の新型コロナウイルス感染者は、十四日は十七人と警戒レベル引上げ後で最少となった。

不足していたワクチンも、モデルナ社との二月の五五〇万回分の契約のうち八〇万回分の到着、日本の三度の寄付計三四〇万回分や米國の約二五〇万回分寄付の「即時救援」で牽制された中国政府が介入していた台湾のワクチン購入に譲歩、上海復星医薬と台湾企業間で計一〇〇〇万回分のファイザー製ワクチンの購入契約が成立、全量が台湾政府に寄贈され、難航していた台湾のワクチン接種も漸く軌道に乗りつつあります。

令和三年

暑中お見舞い申し上げます

(順不同)

<p>台北駐日經濟文化代表處</p> <p>代表 謝長廷</p>	<p>公益財団法人 日本台湾交流協會</p> <p>理事長 谷崎泰明</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協會會長 衆議院議員</p> <p>衛藤征士郎</p> <p>東京都千代田区永田町二二二一 衆議院第一議員會館二〇一號室 新21世紀政治經濟研究所 電話〇三(三五〇八)七六一八</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處</p> <p>處長 李世丙</p> <p>大阪府北区中之島二一三一八 中之島フエスティバルタワー一九F 電話〇六(六二二七)八六二二三</p>
<p>台北駐日經濟文化代表處 横浜分處</p> <p>處長 張淑玲</p> <p>横浜市中央区日本大通り六〇 朝日生命横浜ビル二階 電話〇四五(六四一)七七三七</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處</p> <p>處長 陳忠正</p> <p>福岡市中央区桜坂三一二二四二 電話〇九二(七三四)二八一〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 那覇分處</p> <p>處長 范振國</p> <p>那覇市久茂地三一五一九 アルテビル那覇六階 電話〇九八(八六二)七〇〇八</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 札幌分處</p> <p>處長 周学佑</p> <p>札幌市中央区北四条四丁目一番地 伊藤ビル五階 電話〇一一(二二二)二九三〇</p>
<p>衆議院議員</p> <p>奥野信亮</p> <p>東京都千代田区永田町二二一 衆議院第二議員會館一〇一號室 電話〇三(三五〇八)七四二一 FAX 〇三(三五〇八)三九〇一</p>	<p>衆議院議員</p> <p>金子万寿夫</p> <p>東京都千代田区永田町二二一 衆議院第二議員會館二一三號室 電話〇三(三五八)五一一一 内線七〇二二三 FAX 〇三(三五〇八)三八一一</p>	<p>衆議院議員</p> <p>金子恭之</p> <p>東京都千代田区永田町二二一 衆議院第二議員會館四一〇號室 電話〇三(三五〇八)七四一〇</p>	<p>衆議院議員</p> <p>谷川弥一</p> <p>東京都千代田区永田町二二一 衆議院第二議員會館一〇一號室 電話〇三(三五〇八)七〇一四 FAX 〇三(三五〇六)〇五五七</p>

令和三年

暑中お見舞い申し上げます

(順不同)

<p>衆議院議員</p> <p>古屋圭司</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―二 衆議院第二議員会館四二二三号室 電話〇三(三五〇八)七四四〇 FAX〇三(三五九二)九〇四〇</p>	<p>衆議院議員</p> <p>根本幸典</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―二 衆議院第二議員会館九〇六号室 電話〇三(三五〇八)七七七一</p>	<p>防衛副大臣・内閣府副大臣 衆議院議員</p> <p>中山泰秀</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―一 衆議院第一議員会館二二六号室 電話〇三(三五〇八)七〇二八 FAX〇三(三五〇八)三八二八</p>	<p>衆議院国土交通委員会 理事 自由民主党情報調査局長 衆議院議員</p> <p>土井亨</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―一 衆議院第一議員会館一二〇号室 電話〇三(三五〇八)七四七〇</p>
<p>参議院議員</p> <p>山本順三</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―一 参議院議員会館一〇一九号室 電話〇三(六五五〇)一〇一九</p>	<p>衆議院議員</p> <p>三原朝彦</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―一 衆議院第一議員会館九一二号室 電話〇三(三五〇八)七二九八 FAX〇三(三五〇八)三五〇八</p>	<p>衆議院議員</p> <p>三ツ林裕巳</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―二 衆議院第二議員会館五二二号室 電話〇三(三五〇八)七四一六 FAX〇三(三五〇八)三八九六</p>	<p>衆議院議員</p> <p>前原誠司</p> <p>東京都千代田区永田町二二一―一 衆議院第一議員会館八〇九号室 電話〇三(三五〇八)七一七一 FAX〇三(三五九二)六六九六</p>
<p>中華民國留日橫濱華僑總會</p> <p>會長 張儀 理監事 一同</p> <p>神奈川県横浜市中区山下町一四二番地 電話〇四五(六八二)二一四 FAX〇四五(二〇二)二八五五</p>	<p>日本中華聯合總會</p> <p>會長 林月理</p> <p>東京都港区六本木七五一―四階 電話〇三(五八四三)〇五八五 FAX〇三(三四〇八)〇三八二</p>	<p>一般財団法人 台湾協会</p> <p>理事長 小椋 和平</p> <p>東京都新宿区新宿六十二九十六 エールツ6ビル 四F 電話〇三(三三〇〇)八一六 FAX〇三(三三〇〇)八一八〇</p>	<p>前参議院議員 弁護士</p> <p>魚住裕一郎</p> <p>東京都港区虎ノ門二二一―七階 東京不二法律事務所 電話〇三(三五〇二)六四二一 FAX〇三(三五〇二)六四二三</p>

令和三年

暑中お見舞い申し上げます

(順不同)

<p>株式会社 永島製作所</p> <p>代表取締役 永島 剛士</p> <p>石川県羽咋市寺家町夕一番九 電話〇七六七(二二)七〇一一 FAX〇七六七(二二)七〇一一</p>	<p>後藤泌尿器科皮膚科医院</p> <p>院長 後藤 康文</p> <p>岩手県宮古市大通一―三―二四 電話〇一九三(六二)三六三〇</p>	<p>東京国際大学</p> <p>理事長・総長 倉田 信靖</p> <p>新宿区高田馬場四―二三―二三 電話〇三(三三六二)九六四一</p>	<p>中華民國留日台湾同郷會</p> <p>會長 蕭 玉 蘭</p> <p>東京都新宿区西新宿四―一―一二〇 電話〇三(六二四〇)一五二六 FAX〇三(六二七六)六一六六</p>
<p>株式会社 五常光産</p> <p>代表取締役 屋島 範光</p> <p>東京都新宿区西新宿七―一―三十五 電話〇三(五三三〇)八〇八八 FAX〇三(五三三〇)〇四五五</p>	<p>オリオンビール株式会社</p> <p>取締役会長 嘉手苅義男</p> <p>沖縄県豊見城市字豊崎一―四―一 電話〇九八(九一)五二二九</p>	<p>上北農産加工株式会社</p> <p>代表取締役社長 成田 正義</p> <p>青森県十和田市大字相坂字上前川原七六 電話〇一七六(二三)三二三八 FAX〇一七六(二三)八一五三</p>	<p>東光株式会社</p> <p>代表取締役 山口 裕志</p> <p>東京都渋谷区富ヶ谷二―一―一五 電話〇三(五七九〇)五七九〇 FAX〇三(五七九〇)五七九九</p>
<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 岩田 善信</p> <p>東京都港区南青山五―一六―九 サウス青山マンション五〇四号 電話〇三(三四〇九)七八八八 FAX〇三(三四〇九)九四〇五</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会 元 衆議院議員</p> <p>副会長 並木 正芳</p> <p>埼玉県所沢市泉町一七九三―三―一〇二 電話〇四(二九二四)八〇五〇 FAX〇四(二九四五)八〇六一</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 張 碧華</p> <p>千代田区外神田三―七―七 電話〇三(三二五七)〇〇三二</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 張 建國</p> <p>千代田区外神田三―七―七 電話〇三(三二五七)〇〇三二</p>

令和三年 暑中お見舞い申し上げます (順不同)

<p>明石散人</p> <p>中央区築地二一五一〇一〇二〇八 電話〇三(三五四二)八八四八 携帯〇九〇(八八七二)四七七一</p>	<p>一般社団法人日本台湾親善協会</p> <p>理事 森 康郎</p>	<p>一般社団法人日本台湾親善協会</p> <p>業務執行理事 程 金笙</p>	<p>一般社団法人日本台湾親善協会</p> <p>専務理事 赤松 則宏</p>
	<p>エイチアイインターナショナル株式会社</p> <p>代表取締役 李ハロルド</p> <p>東京都新宿区新宿五一七一―一八 電話〇三(三二〇三)〇一一一 FAX〇三(三二〇三)〇一一九</p>	<p>学校法人電子学園 日本電子専門学校 情報経営イノベーション専門職大学</p> <p>理事長 多 忠貴</p>	<p>有限公司 Tommy's Works</p> <p>取締役 富田 家彰</p> <p>東京都練馬区練馬四一五三二〇五 電話〇三(六七六四)一〇〇〇 FAX〇三(六七六七)六四三〇四</p>

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 令和三年 夏季号 (No.78)

発行日 : 令和3年7月15日

発行所 : 一般社団法人日本台湾親善協会

発行人 : 衛藤征士郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館別館2階
Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : 株式会社サンユ一



台湾の翼 チャイナエアラインなら、 うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



www.china-airlines.com/jp/jp